デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示

2026 年 11 月 6 日(金) 発行:ていネコの投資ノート

本日のポイント

- 最重要は**かどや製油(2612)**の買収合戦。本日 16 時 30 分の開示で、別の買い手候補から 1 株 2,914～3,044 円の法的拘束力ある再提案を受けていたことを公表(会社は賛同意見を維持)。現行 TOB(2,514 円)は 11 月 13 日(金)に終了予定です。
- トヨタ自動車(7203)の**自己株式 TOB(2,725 円)が本日開始**。損保 4 社の政策保有株の売却の受け皿で、自社株買い枠も 1 兆 3,000 億円に拡大。前日引け後は参天製薬の 5%規模の自社株買い、LINE ヤフーの優待新設など株主還元策も相次ぎました。
- 株主の注意点:**自己株 TOB は市場価格より安い価格設定のため、一般株主が応募するメリットは通常ありません。**一方、TOB 終了が 11 月 10 日～13 日に集中しており(アルビス、プロジェクト HD、カカクコム等)、応募する場合は証券会社の受付締切を確認してください。

1. 本日の主な開示

前営業日(11 月 5 日)の引け後から本日夕方までに確認できた開示を、重要度の高い順に並べています。

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
TOB(条件の続報)	2612	かどや製油 (スタンダード)	ITG-G HD(インテグラル系)による TOB(2,514 円)への賛同意見を一部変更。別候補(B 社)から 2,914～3,044 円の最終意向表明書を 11/2 に受領したが、契約上「適格対抗提案」に当たらないと説明。より高い価格の C 社提案も検討中	TOB 価格を上回る提案が並存。応募の判断は今後の価格引上げや対抗 TOB の行方を見てから。期間は 11/13 まで
自己株 TOB(本日開始)	7203	トヨタ自動車 (プライム)	自己株 TOB:2,725 円で約 1 億 875 万株(約 2,964 億円)を 11/6～12/7 に買付け。自社株買い枠を 1 兆 3,000 億円・6 億 1,000 万株に拡大、消却上限も 12 億株に。公表は 11/5 13 時 55 分	損保 4 社が計約 2 億 7,422 万株を応募予定(超過分は按分)。市場価格より大幅に低く、一般株主の応募メリットは乏しい。需給面の売り圧力回避が狙い
大型自社株買い	4536	参天製薬 (プライム)	発行済株式の 5.0%(1,600 万株・350 億円)を上限に取得。期間 11/6～2027/5/10(11/5 引け後公表)	手続き不要。1 株当たり価値の向上要因
株主優待(新設)	4689	LINE ヤフー (プライム)	5,000 株以上を 1 年以上保有する株主に、ヤフーショッピング商品券 2.5 万～50 万円分。初回は 2027 年 3 月末基準(11/5 15 時 30 分公表)	少額保有者は対象外。5,000 株以上・継続保有が条件
株主優待(廃止)	6050	イー・ガーディアン (プライム)	2026 年 9 月末基準日を最後に株主優待を廃止(前期業績の下振れとあわせ 11/5 15 時 30 分公表)	本日ストップ安水準まで売られる。次回以降の優待はなし
上場維持基準	4735	京進 (スタンダード)	上場維持基準への適合を公表(11/5 18 時 00 分)	上場廃止リスクの後退

2. 注目案件の解説

かどや製油(2612):TOB 期間中に高値の買収提案が並ぶ

何が決まったか:投資ファンドのインテグラル系「ITG-G ホールディングス」が 9 月 14 日に発表した TOB(1 株 2,514 円)に対し、会社は賛同・応募推奨を続けています。本日 16 時 30 分の開示では、別の候補(B 社)から

11 月 2 日に法的拘束力のある再提案（株主構成に応じて 2,950 円／3,044 円／2,914 円）を受け取ったものの、TOB 契約上の「適格対抗提案」には当たらないため、これを理由に賛同を撤回できないと説明しました。A 社は検討を終了し、TOB 価格より高い水準の C 社提案は引き続き協議・検討するとしています。

条件：現行 TOB 価格 2,514 円、期間は延長後 11 月 13 日（金）まで。10 月 28 日には投資ファンドのアドバンテッジパートナーズが 1 株 2,872～3,000 円の対抗 TOB 提案（11 月中旬開始目標と報道）を公表しています。株価は 10 月 27 日時点で 2,930 円と TOB 価格を上回っており、本日終値に対するプレミアムは「—」（終値未取得）。

株主がとれる対応：現行 TOB は市場価格を下回る水準のため、現時点で応募を急ぐ理由は乏しい状況です。TOB 価格の引上げ、対抗 TOB の正式開始、期間の再延長などの続報を確認してから判断するのが基本です。応募しない場合も、TOB が成立すると後のスクイーズアウトで同じ価格で現金化される点に留意してください。

論点：同社は 9 月に無配転換と優待廃止も発表済みです。大株主（三菱商事・三井物産・創業家）がどの提案に応じるかが最大の焦点です。

トヨタ自動車（7203）：自己株 TOB で政策保有株を受け止める

何が決まったか：11 月 5 日 13 時 55 分、決算とあわせて自己株式の公開買付けを発表。本日から買付けが始まりました。三井住友海上・東京海上日動・損保ジャパン・あいおいニッセイ同和の損保 4 社は計 274,215,055 株を応募する予定です。買付予定数は 108,750,741 株（自己株式を除く発行済株式数の 0.92%）にとどまり、超過分は按分比例で買い付けられます（会社開示）。

条件：買付価格 2,725 円は、11 月 4 日終値 3,028 円から 10%のディスカウント（筆者算出で ▲10.0%）。11 月 5 日終値 3,533 円に対しては約▲22.9%（筆者算出）。期間は 11 月 6 日～12 月 7 日。あわせて自社株買い枠を 1 兆円→1 兆 3,000 億円へ拡大し、自己株式の消却上限を 12 億株（発行済の 8.22%）に引き上げました。

株主がとれる対応：一般株主は手続き不要です。応募もできますが、市場で売る方が高いため、通常はメリットがありません。大口の売り物を市場外で吸収するため、株価への売り圧力を抑える効果が期待されます。

論点：政策保有株の解消に自己株 TOB を使う事例が広がっています。損保 4 社の応募予定数だけで買付予定数の約 2.5 倍（筆者算出）にのぼるため、按分となる見込みです。

3．上場廃止・整理銘柄の動き

区分	日付	会社名（コード・市場）	内容
本日の新規決定	—	確認できず	ウェブ検索・JPX 一覧で、本日新たに決まった上場廃止・整理銘柄指定は確認できませんでした（JPX 一覧は 10/30 更新）
上場廃止予定	11/11（水）	アールビバン（7523・スタンダード）	MBO（公開買付け・株式併合）。整理銘柄に指定済み（10/20）
上場廃止予定	12/1（火）	光・彩（7878・スタンダード）	申請による上場廃止。整理銘柄に指定済み（10/30）
参考	—	まぐまぐ（4059）ほか	整理銘柄：まぐまぐ・ウェッジ HD（2027/4/1 廃止）、さいか屋・アルファ（2027/3/1）、ホーブ（2027/1/1）。いずれも上場維持基準への不適合

4．今後の主な日程

日付	会社名（コード）	内容
11/10（火）	アルビス（7475）	ライフコーポレーションによる TOB（3,780 円）期間終了
11/10（火）	HYUGA PRIMARY CARE（7133）	MBO の TOB（2,110 円）期間終了
11/10（火）	サンケイリアルエステート投資法人（2972）	シティインデックスファンドによる TOB（125,000 円）期間終了

日付	会社名(コード)	内容
11/11(水)	プロジェクト HD(9246)	TX1(テクノプロ・HD)による TOB(2,200 円)期間終了
11/11(水)	アールビバン(7523)	上場廃止日
11/12(木)	カカクコム(2371)	EQT 系による TOB(3,683 円)期間終了予定(※)
11/13(金)	かどや製油(2612)	ITG-G HD による TOB(2,514 円)期間終了(延長後)
11/16〜18	乃村工藝社(9716)	三井住友銀行による株式売出しの価格決定期間
11/18(水)	キーエンス(6861)	株式分割(1→5)の権利付最終日(効力発生 11/21)
11/26(木)	不二越(6474)ほか	株式分割の権利付最終日:不二越 1→5、TAKARA&C 1→3、川上塗料 1→3、内外テック 1→2、光フード 1→2、大和証券オフィス投資法人 1→4
11/26(木)	リソー教育グループ(4714)	TOB(295 円)期間終了
12/7(月)	トヨタ自動車(7203)	自己株 TOB(2,725 円)期間終了

※ 証券会社の応募受付締切は期間最終日より早いことがあります。カカクコムには別の買い手(ベイン系)による 3,700 円の対抗 TOB 計画も報じられています。

5. 用語の解説

自己株式の公開買付け(自己株 TOB):会社が自分の株を、期間・価格・株数を決めて市場外で買い取る方法。主に大株主の売却の受け皿として使われ、市場価格より低い価格に設定されるのが一般的です。

適格対抗提案:TOB 契約で定められた、会社が賛同を見直す検討に入れる条件を満たす他社の買収提案。条件を満たさない提案は、価格が高くても賛同撤回の理由にできない場合があります。

・本レポートは、ウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。本日 15 時以降の開示はまだ検索で拾えないものが多く、漏れがある可能性があります。

・プレミアム・ディスカウント率などの算出値は「筆者算出」と明記しています。かどや製油 B 社の再提案価格は会社開示(一次資料)1 本、参天製薬の取得規模とカカクコムの TOB 条件はそれぞれ 1 媒体のみで確認しています。

・本レポートは生成 AI を用いて公開情報を整理・執筆しました。

・出典:日本取引所グループ(上場廃止銘柄一覧、監理銘柄・整理銘柄一覧、カレンダー)、IRBANK(適時開示の原本 PDF)、日本経済新聞、東洋経済オンライン、株探ニュース(Yahoo!ファイナンス掲載)、ダイヤモンド・ザイ、Bloomberg、BigGo ファイナンス、松井証券(銘柄情報)、トレーダーズ・ウェブ、TOB レーダー、株きそ、M&A Online、Media-IR。

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。